



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 ユニチカ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3103 URL <https://www.unitika.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上埜 修司
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤本 真澄 TEL 06-6281-5721
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|-------------|--------|------|--------|---|-------|-------|---------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期中間期 | 61,550 | 6.1 | 2,233 | - | 1,151 | - | △9,842 | - |
| 2024年3月期中間期 | 58,029 | △1.8 | △1,792 | - | 88 | △97.7 | △409 | - |

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △7,639百万円 (-%) 2024年3月期中間期 △769百万円 (-%)

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期中間期 | △170.71 | - |
| 2024年3月期中間期 | △9.55 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年3月期中間期 | 176,351 | 30,608 | 16.7 |
| 2024年3月期 | 186,333 | 38,247 | 19.7 |

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 29,456百万円 2024年3月期 36,764百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 |
| 2025年3月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2025年3月期（予想） | - | - | - | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|---|-------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 120,000 | 1.4 | 3,000 | - | 1,400 | - | △10,300 | - | △178.65 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 1株当たり当期純利益につきましては、2025年3月期の種類株式の期末配当予想を未定としておりますので、種類株式の配当による影響を除いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2025年3月期中間期 | 57,752,343株 | 2024年3月期 | 57,752,343株 |
| 2025年3月期中間期 | 97,404株 | 2024年3月期 | 96,907株 |
| 2025年3月期中間期 | 57,655,254株 | 2024年3月期中間期 | 57,655,702株 |

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期(中間期)決算短信(添付資料)3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明内容の入手方法について)

当社は、2024年12月6日(金)に証券アナリスト及び機関投資家向け説明会を電話会議にて開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料については、当社ウェブサイトにて掲載する予定です。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| A種類株式 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2025年3月期 | — | 0.00 | | | |
| 2025年3月期（予想） | | | — | — | — |
| B種類株式 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2025年3月期 | — | 0.00 | | | |
| 2025年3月期（予想） | | | — | — | — |

（注）2025年3月期の期末配当予想は、未定としております。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 6 |
| 中間連結損益計算書 | 6 |
| 中間連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (セグメント情報等の注記) | 10 |
| 3. 補足資料 | 11 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における国内経済は、半導体需要の緩やかな回復などにより、製造業に持ち直しの傾向が見られました。また、訪日客の増加に伴い、観光等の対人サービス業は期初から堅調に推移しましたが、夏場の自然災害による影響を受け、一部の需要にブレーキがかかりました。先行きに関しては、海外における景気の停滞、中東などの地政学リスクの顕在化、為替相場の動向や利上げの影響、人手不足の懸念など、不透明な状況が続くことが見込まれます。

このような状況の下、当社グループは、前年度の厳しい業績を受け、赤字からの脱却を最優先の課題として、経費削減を始めとしたコストダウンなどの自助努力、価格改定、より付加価値の高い高機能製品の拡販による収益力の強化に取り組んでまいりました。

このほか、食品包装用途や電子材料用途等の需要回復の影響もあり、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比6.1%増収の、61,550百万円となりました。

営業利益は、販売量増加の影響と価格改定・コストダウン施策の効果などにより、2,233百万円(前年同期は1,792百万円の営業損失)となりました。また、前連結会計年度末と比較した円高の進行により外貨建資産の為替評価損を計上した結果、経常利益は1,151百万円(前年同期は88百万円の利益)となりました。また、東南アジア地域での大幅な販売減少による収益性低下を反映して、連結子会社のP. T. EMBLEM ASIAが保有する固定資産に対して10,674百万円の減損損失を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純損失は、9,842百万円(前年同期は409百万円の損失)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

【高分子事業セグメント】

高分子事業セグメントでは、各分野・用途の市況が回復したことにより、販売が回復しました。また、販売増に伴い生産量が増加し、製造コストが低減しました。

フィルム事業では、包装分野では、ナイロンフィルム、ポリエステルフィルムともに販売量が回復しました。また、ハイバリアナイロンフィルム「エンブレムHG」の販売は引き続き好調でした。工業分野では、半導体市況の回復に伴い、シリコンフリー離型フィルム「ユニピール」などの販売が回復しました。また、原燃料価格の高騰を背景に、価格改定を行いました。海外においては、販売戦略の見直しにより収益は改善しましたが、中国等の安価製品との販売競争が続いた影響で苦戦しました。この結果、事業全体で増収増益となりました。

樹脂事業では、エンジニアリングプラスチックは、自動車部品用途、電気電子部品用途等の販売が緩やかに回復しました。機能樹脂は、変性ポリオレフィン樹脂エマルジョン「アローベース」が、水系接着剤用途で販売を伸ばしました。各製品において価格改定を実施し、収益性が改善しました。この結果、事業全体で増収増益となりました。

以上の結果、高分子事業セグメントの売上高は28,101百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は2,712百万円(前年同期は94百万円の利益)となりました。

【機能資材事業セグメント】

機能資材事業セグメントでは、電子材料分野を中心に、幅広い用途分野で販売が回復しました。販売量回復に伴い、生産量が増加し、製造コストが低減しました。コストダウン及び各製品の価格改定の効果で収益性が回復した結果、増収増益となり、黒字に転換しました。

活性炭繊維事業では、主力の浄水用途は、住宅着工件数減少などの影響を受け、販売が減少しました。めっき液フィルター用途は、電子部品の需要回復に伴い販売が回復しました。

ガラス繊維事業では、産業資材分野は、テント・シート等の建築資材用途を中心に販売は堅調でした。電子材料分野のICクロスは、ハイエンドメモリを中心に半導体パッケージ基板向け高機能ガラスクロスの販売が伸長しました。

ガラスビーズ事業では、道路用途は猛暑や自然災害により道路工事が減少する中、海外製品との販売競争の結果、シェアが拡大し、販売が増加しました。工業用途では高機能ガラスビーズの販売が伸長しました。

不織布事業では、主要製品の販売増により収益性が改善し、赤字を大幅に縮小しました。спанボンド不織布は円安の効果により海外への輸出が伸長しました。国内では土木用途や生活資材用途の販売が堅調でした。コットンспанレースは、猛暑により汗拭きシートなどのスキンケア用途の販売が好調でした。

産業繊維事業では、主要製品の販売増により増収となり、価格改定の効果等で赤字を縮小しました。ポリエステル高強力糸は低調でしたが、ポリエステル短繊維はフィルター用途を中心に順調な販売となりました。

以上の結果、機能資材事業セグメントの売上高は18,362百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は157百万円(前年同期は1,416百万円の損失)となりました。

【繊維事業セグメント】

衣料繊維事業では、主力のユニフォーム分野の販売は、官需については堅調でしたが、民需についてはやや回復は見られるも、全般的には低調でした。また、婦人服等の一般衣料分野、寝装分野及びスポーツ衣料分野では需要低迷が続いた影響で販売が減少しました。グローバル事業は、デニム生地 of 輸出販売が回復しました。産業資材事業は、建築土木分野が低調であった一方、電気電子用途の販売が好調で、全体での販売状況は横ばいでした。利益面では、円安の進行によるコストアップの影響が大きく、価格改定による効果をコストアップが上回りました。

以上の結果、繊維事業セグメントは減収減益となり、売上高は15,049百万円(前年同期比2.8%減)、営業損失は574百万円(前年同期は445百万円の損失)となりました。

【その他】

その他の事業では、売上高は37百万円(前年同期比37.9%増)、営業損失は35百万円(前年同期は42百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ9,981百万円減少し、176,351百万円となりました。これは、主として機械装置及び運搬具が減少したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ2,341百万円減少し、145,743百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が減少したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ7,639百万円減少し、30,608百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する中間純損失の計上により利益剰余金が減少したことによります。

また、キャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少などにより、4,914百万円の資金の増加(前年同期は4,902百万円の資金の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う支出などにより、1,940百万円の資金の減少(前年同期は3,134百万円の資金の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済などにより、218百万円の資金の減少(前年同期は29百万円の資金の増加)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ3,006百万円増加し、13,193百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日(2024年11月8日)公表いたしました「営業外費用(為替差損)、特別損失(固定資産の減損損失)の計上及び2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値の差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年9月30日) |
|----------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,206 | 13,719 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 24,225 | 20,810 |
| 棚卸資産 | 33,161 | 34,601 |
| その他 | 4,227 | 4,509 |
| 貸倒引当金 | △48 | △58 |
| 流動資産合計 | 72,773 | 73,583 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 26,159 | 16,450 |
| 土地 | 62,706 | 62,555 |
| その他(純額) | 17,645 | 16,895 |
| 有形固定資産合計 | 106,512 | 95,901 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 1,924 | 1,930 |
| 無形固定資産合計 | 1,924 | 1,930 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 5,236 | 4,988 |
| 貸倒引当金 | △112 | △52 |
| 投資その他の資産合計 | 5,123 | 4,936 |
| 固定資産合計 | 113,559 | 102,768 |
| 資産合計 | 186,333 | 176,351 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 17,100 | 15,699 |
| 短期借入金 | 3,085 | 3,085 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,629 | 3,926 |
| 未払法人税等 | 274 | 485 |
| 賞与引当金 | 1,372 | 1,362 |
| 製品改修引当金 | 35 | 31 |
| その他 | 10,170 | 8,924 |
| 流動負債合計 | 34,667 | 33,515 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 86,434 | 85,135 |
| 退職給付に係る負債 | 13,886 | 14,194 |
| その他 | 13,096 | 12,897 |
| 固定負債合計 | 113,417 | 112,228 |
| 負債合計 | 148,085 | 145,743 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100 | 100 |
| 資本剰余金 | 11,476 | 11,476 |
| 利益剰余金 | 21,740 | 11,897 |
| 自己株式 | △57 | △57 |
| 株主資本合計 | 33,259 | 23,416 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 929 | 785 |
| 繰延ヘッジ損益 | 5 | △16 |
| 土地再評価差額金 | 6,244 | 6,244 |
| 為替換算調整勘定 | △4,537 | △1,855 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 862 | 881 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,504 | 6,040 |
| 非支配株主持分 | 1,483 | 1,151 |
| 純資産合計 | 38,247 | 30,608 |
| 負債純資産合計 | 186,333 | 176,351 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 58,029 | 61,550 |
| 売上原価 | 49,090 | 49,247 |
| 売上総利益 | 8,938 | 12,303 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,731 | 10,069 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △1,792 | 2,233 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 27 | 70 |
| 受取配当金 | 40 | 43 |
| 持分法による投資利益 | 9 | 9 |
| 為替差益 | 2,354 | — |
| 還付税金 | — | 181 |
| その他 | 160 | 526 |
| 営業外収益合計 | 2,593 | 831 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 486 | 641 |
| 為替差損 | — | 926 |
| その他 | 225 | 346 |
| 営業外費用合計 | 712 | 1,914 |
| 経常利益 | 88 | 1,151 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 175 |
| 投資有価証券売却益 | 10 | — |
| 特別利益合計 | 10 | 175 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 10,674 |
| 固定資産処分損 | 232 | 215 |
| 事業構造改善費用 | 75 | 23 |
| 特別損失合計 | 308 | 10,913 |
| 税金等調整前中間純損失(△) | △209 | △9,586 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 336 | 401 |
| 法人税等調整額 | 14 | △13 |
| 法人税等合計 | 351 | 387 |
| 中間純損失(△) | △561 | △9,974 |
| 非支配株主に帰属する中間純損失(△) | △152 | △132 |
| 親会社株主に帰属する中間純損失(△) | △409 | △9,842 |

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|----------------|--|--|
| 中間純損失(△) | △561 | △9,974 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 213 | △143 |
| 繰延ヘッジ損益 | 5 | △22 |
| 為替換算調整勘定 | △487 | 2,482 |
| 退職給付に係る調整額 | 59 | 19 |
| その他の包括利益合計 | △208 | 2,335 |
| 中間包括利益 | △769 | △7,639 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | △643 | △7,307 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | △125 | △332 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純損失(△) | △209 | △9,586 |
| 減価償却費 | 2,956 | 2,738 |
| 減損損失 | — | 10,674 |
| 事業構造改善費用 | 75 | 23 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 10 | △50 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 196 | 271 |
| 製品改修引当金の増減額(△は減少) | △0 | △4 |
| その他の引当金の増減額(△は減少) | △17 | △11 |
| 支払利息 | 486 | 641 |
| 為替差損益(△は益) | △2,354 | 926 |
| 還付税金 | — | △181 |
| 固定資産処分損益(△は益) | 232 | 215 |
| 固定資産売却損益(△は益) | — | △175 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △10 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △357 | 3,623 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 1,213 | △1,011 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 664 | △1,855 |
| その他 | 2,291 | △553 |
| 小計 | 5,178 | 5,683 |
| 利息及び配当金の受取額 | 68 | 113 |
| 利息の支払額 | △511 | △655 |
| 法人税等の支払額 | 166 | △226 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,902 | 4,914 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額(△は増加) | 15 | 560 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △6 | △6 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 14 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,706 | △2,613 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 9 | 323 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △177 | △121 |
| その他 | △283 | △82 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,134 | △1,940 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △1,223 | — |
| 長期借入れによる収入 | 1,453 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,329 | △1 |
| 配当金の支払額 | △283 | — |
| セール・アンド・リースバックによる収入 | 1,604 | — |
| その他 | △191 | △217 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 29 | △218 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 243 | 250 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 2,040 | 3,006 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,612 | 10,187 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 11,652 | 13,193 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 中間連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|-----------|------------|--------|--------|-------------|--------|-------------|------------------------------|
| | 高分子 事業 | 機能資 材事業 | 繊維事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 26,021 | 16,493 | 15,488 | 58,002 | 26 | 58,029 | — | 58,029 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 2,561 | 872 | 58 | 3,492 | — | 3,492 | △3,492 | — |
| 計 | 28,582 | 17,366 | 15,546 | 61,495 | 26 | 61,522 | △3,492 | 58,029 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 94 | △1,416 | △445 | △1,767 | △42 | △1,809 | 16 | △1,792 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 中間連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|-----------|------------|--------|--------|-------------|--------|-------------|------------------------------|
| | 高分子 事業 | 機能資 材事業 | 繊維事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 28,101 | 18,362 | 15,049 | 61,513 | 37 | 61,550 | — | 61,550 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 2,793 | 1,060 | 36 | 3,889 | — | 3,889 | △3,889 | — |
| 計 | 30,894 | 19,423 | 15,085 | 65,403 | 37 | 65,440 | △3,889 | 61,550 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 2,712 | 157 | △574 | 2,295 | △35 | 2,260 | △26 | 2,233 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「高分子事業」セグメントにおいて、連結子会社であるP. T. EMBLEM ASIAに係る固定資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては10,674百万円であります。

3. 補足資料

①業績及び2025年3月期業績予想(連結)

(百万円)

| | | | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 |
|-----|--------|--------|---------|--------|--------|-------------------------|
| 連 結 | 2023/3 | 年 間 | 117,942 | 1,327 | 1,069 | 102 |
| | 2024/3 | 中 間 | 58,029 | △1,792 | 88 | △409 |
| | | 年 間 | 118,341 | △2,475 | △1,014 | △5,443 |
| | 2025/3 | 中 間 | 61,550 | 2,233 | 1,151 | △9,842 |
| | | 年間(予想) | 120,000 | 3,000 | 1,400 | △10,300 |
| | 前年比較 | 中 間 | 3,521 | 4,026 | 1,062 | △9,433 |
| 年 間 | | 1,658 | 5,475 | 2,414 | △4,856 | |

②セグメント情報(連結)

(百万円)

| | | | 高分子 | 機能資材 | 織 維 | その他 | 調整額 | 連 結 |
|--------|----------------|--------|--------|--------|--------|------|------|--------|
| 前年実績 | 2023/9 (実績) | 外部売上高 | 26,021 | 16,493 | 15,488 | 26 | — | 58,029 |
| | | 構成比(%) | 44.8 | 28.4 | 26.7 | 0.0 | — | 100.0 |
| | | 営業利益 | 94 | △1,416 | △445 | △42 | 16 | △1,792 |
| | | 構成比(%) | △5.3 | 79.0 | 24.8 | 2.4 | △0.9 | 100.0 |
| 当期実績 | 2024/9 (実績) | 外部売上高 | 28,101 | 18,362 | 15,049 | 37 | — | 61,550 |
| | | 構成比(%) | 45.7 | 29.8 | 24.5 | 0.1 | — | 100.0 |
| | | 営業利益 | 2,712 | 157 | △574 | △35 | △26 | 2,233 |
| | | 構成比(%) | 121.4 | 7.1 | △25.7 | △1.6 | △1.2 | 100.0 |
| 前年同期比較 | | 外部売上高 | 2,080 | 1,869 | △438 | 10 | — | 3,521 |
| | | 増減率(%) | 8.0 | 11.3 | △2.8 | 37.9 | — | 6.1 |
| | | 営業利益 | 2,618 | 1,574 | △129 | 6 | △43 | 4,026 |
| | | 増減率(%) | — | — | — | — | — | — |

③設備投資実施額・減価償却費(有形固定資産)・研究開発費・有利子負債・金融収支・正従業員数(連結)

(百万円、人)

| | | 設備投資 実 施 額 | 減 価 償 却 費 | 研 究 開 発 費 | 有 利 子 負 債 (期 末) | 金 融 収 支 | 正 従 業 員 数 (人) |
|--------|-----|---------------|--------------|--------------|--------------------|------------|------------------|
| 2023/3 | 年 間 | 7,641 | 4,729 | 3,757 | 93,440 | △952 | 2,944 |
| 2023/9 | 中 間 | 3,366 | 2,654 | 1,835 | 92,533 | △418 | 2,940 |
| 2024/3 | 年 間 | 6,813 | 5,516 | 3,602 | 92,149 | △999 | 2,907 |
| 2024/9 | 中 間 | 1,794 | 2,404 | 1,628 | 92,147 | △527 | 2,769 |

④キャッシュ・フロー(連結)

(百万円)

| | | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物の 期 末 残 高 |
|--------|-----|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|
| 2023/3 | 年 間 | 509 | △8,092 | △1,657 | 9,612 |
| 2023/9 | 中 間 | 4,902 | △3,134 | 29 | 11,652 |
| 2024/3 | 年 間 | 8,169 | △7,541 | △279 | 10,187 |
| 2024/9 | 中 間 | 4,914 | △1,940 | △218 | 13,193 |